

主日礼拝

2024 年 09 月 29 日
午前 10 時 30 分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「こういうわけで、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。」

(ローマの信徒への手紙 12:1)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ち ち 子 せ い れ い の ひ と り の 主 よー、 さ か え と ち
か ら は た だ 主 に あ れー、 とー こ し え ま でー。
アーメン。

交読詩編 65 : 1~5

司式者：沈黙してあなたに向かい、賛美をささげます。

シオンにいます神よ。

会衆：あなたに満願の^{まんがん}献げ物をささげます。

司式者：祈りを聞いてくださる神よ

会衆：すべて肉なるものはあなたのもとに来ます。

司式者：罪の数々がわたしを圧倒します。

会衆：背いたわたしたちを

あなたは贖ってくださいます。

司式者：いかに幸いなことでしょう

あなたに選ばれ、近づけられ

あなたの庭に宿る人は。

会衆：恵みの溢れるあなたの家、聖なる神殿によって
わたしたちが満ち足りるように。

司式者：わたしたちの救いの神よ

あなたの恐るべき^{みわざ}御業が

わたしたちへの心さわしい答えでありますように。

会衆：遠い海、地の果てに至るまで

すべてのものがあなたに依り頼みます。

賛美 17-1,2,4 「聖なる主の美しさと」

Worship the Lord in the beauty of holiness
詞：John S. B. Monsell, 1811-1875

MONSELL
曲：William F. Sherwin, 1826-1888

1 せ い な る 主 の う つ く し さ と そ の さ
2 お も に す べ て 主 が か わ っ て お っ て く
4 や み を か え て ひ か り と す る 主 の め
か え を あ お い で、 ま ご こ ろ も て み ま え
だ さ る う れ し さ。 な や み お お い 世 の た
ぐ み の と う と さ。 の ぞ み は わ き、 お そ れ
に た ち み 名 を た た え、 あ が め よ う。
び じ も み ち び く 主 の み め ぐ み。
は き え、 む ね に み ち る よ ろ こ び。

1 聖なる主の美しさと 2 重荷すべて 主が代わって
その栄えを 仰いで、 負ってくださる うれしさ。
まごころもて み前に立ち 悩み多い 世の旅路も
み名をたたえ、あがめよう。 みちびく 主のみ恵み。

4 闇をかえて 光とする
主の恵みの 貴さ。
望みは湧き、おそれは消え、
胸に満ちる よろこび。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キ リ エ エ レ イ ソ ン キ リ エ エ レ イ ソ ン
し ゅ よ あ わ れ み を し ゅ よ あ わ れ み を
キ リ エ エ レ - - イ ソ ン
し ゅ よ あ わ れ - - み を

聖書 ヨハネによる福音書 11:1～16

新約(新共同訳)P188～P189

1 ある病人がいた。マリアとその姉妹マルタの村、ベタニアの出身で、ラザロといった。2 このマリアは主に香油を塗り、髪の毛で主の足をぬぐった女である。その兄弟ラザロが病気であった。3 姉妹たちはイエスのもとに人をやって、「主よ、あなたの愛しておられる者が病気なのです」と言われた。4 イエスは、それを聞いて言われた。「この病気は死で終わるものではない。神の栄光のためである。神の子がそれによって栄光を受けるのである。」5 イエスは、マルタとその姉妹とラザロを愛しておられた。6 ラザロが病気だと聞いてからも、なお二日間同じ所に滞在された。7 それから、弟子たちに言われた。「もう一度、ユダヤに行こう。」8 弟子たちは言った。「ラビ、ユダヤ人たちがついこの間もあなたを石で打ち殺そうとしたのに、またそこへ行かれるのですか。」9 イエスはお答えになった。「昼間は十二時間あるではないか。昼のうちに歩けば、つまずくことはない。この世の光を見ているからだ。10 しかし、夜歩けば、つまずく。その人の内に光がないからである。」11 こうお話しになり、また、その後で言われた。「わたしたちの友ラザロが眠っている。しかし、わたしは彼を起こしに行く。」12 弟子たちは、「主よ、眠っているのであれば、助かるでしょう」と言った。13 イエスはラザロの死について話されたのだが、弟子たちは、ただ眠りについて話されたものと思ったのである。14 そこでイエスは、はっきりと言われた。「ラザロは死んだのだ。15 わたしがその場に居合わせなかったのは、あなたがたにとってよかった。あなたがたが信じるようになるためである。さあ、彼のところへ行こう。」16 すると、ディディモと呼ばれるトマスが、仲間の弟子たちに、「わたしたちも行って、一緒に死のうではないか」と言った。

賛美 533 「どんなときでも」

capo 1 (D) E^b (Em) Fm (A7) B⁷ (Bm) C_m

1.2. どんなときでも どんなときでも

(G) A^b (D) E^b (Bm) C_m (A) B^b

1. くるしみにまげず くじけ ではない
2. しあわせをのぞみ くじけ ではない

(D) E^b (B7) C7 (Em) Fm (A7) B⁷ (D) E^b

イエスさまの、イエスさまの
イエスさまの、イエスさまの

あいを信じて。 あいがあるから。

- 1 どんな時でも、どんな時でも
苦しみに負けず、くじけてはならない。
イエスさまの、イエスさまの
愛を信じて。
- 2 どんな時でも、どんな時でも
幸せをのぞみ、くじけてはならない。
イエスさまの、イエスさまの
愛があるから。

説教 「愛に押し出されて」

賛美 469 「善き力にわれかこまれ」

Von guten Mächten treu und still umgeben
詞：Dietrich Bonhoeffer, 1906-1945
VON GUTEN MÄCHTEN
曲：Otto Abel, 1905-1977

1 よすたかよ きぎとがき ちたいやち かひ主かか らびかせら にのらよに わなさまま れやしのも かみだとら こおさまれ まもれしつ れ、くるるびつ、

まなさわき もおかれた りのずるる なしきのべ ぐかはやき さかにみと めるがのき らとくなを れきてかま て、も、に。

世さおのよ のわそぞも なきれみあ やたず、をさ みつか主も とこんのい もこし手つ にろをにも わしこゆか かずめだみ ち、めて、ね、は

あみあきわ たむいたれ らねするら しにるべと いし手きと 日たかおも をがらさに のいうをい、 ぞゆけまま もう、よう、どうす。

- 1 善き力に 守られつ、
来たるべき時を待とう。
夜も朝も いつも神は
われらと共にいます。
- 2 過ぎた日々、 悩み重く
なお、のしかかるときも、
さわぎ立つ 心しずめ、
みむねにしたがいゆく。
- 3 たとい主から 差し出される
杯は苦くても、
恐れず、感謝をこめて、
愛する手から受けよう。
- 4 輝かせよ、主のともし火、
われらの闇の中に。
望みを主の手にゆだね、
来たるべき朝を待とう。
- 5 善き力に 守られつ、
来たるべき時を待とう。
夜も朝も いつも神は
われらと共にいます。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 喜多村 文子
説教 向井 希夫牧師
奏楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。